

# 社会とのかかわり

## 「良き企業市民」としての社会貢献活動

2007  
POINT

- ① プライベートでボランティアに取り組んでいる従業員の表彰を継続して行っております。
- ② 2007年度には、103,260人もの皆さまに、スバルビジターセンターを見学していただきました。

## 社会貢献活動

スバルでは、CSRの取り組みのひとつの分野として、「社会貢献活動方針」を制定して、社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。

### 社会貢献活動方針

私たちは、科学技術やのりもの文化の発展、交通安全の普及に貢献します。  
私たちは、ものづくりの楽しさ、大切さや尊さを知る、人づくりに貢献します。  
私たちは、私たちが活動する地域の発展に貢献します。  
私たちは、一人ひとりもよき市民として、社会に貢献することを互いに応援します。

## 従業員一人ひとりの社会貢献意識を高めるため、さまざまなボランティア支援を行っています

### ■ ボランティア活動支援

#### 従業員意識向上のための表彰制度

当社の社会貢献方針の第4項には「私たちは、一人ひとりもよき市民として、社会に貢献することを互いに応援します。」とあります。会社として寄付や、人を派遣したりすることはもちろん大切なことですが、私たち一人ひとりが社会貢献の大切さ、尊さを知ること、会社の社会貢献はより奥行きのある心のこもったものになる、という想いが込められたものです。

この考えを具体化するため、プライベートの時間を使ってボランティアに取り組んでいる従業員を、2006年度から会社として表彰しています。2007年6月には第2回ボランティア表彰として、やんべ はるみ山家春美さんが表彰されました。山家さんは、永年のボーイスカウト指導者としての活動と、63回にもおよぶ献血が評価されました。



表彰された山家春美さんと高木CSR環境委員長

### ■ 社内における活動

#### 社員がだれでも気軽に参加できる活動

当社では、社員がだれでも気軽にボランティアに参加できるように、社内には使用済み切手・プリペイドカードなどの回収箱を設置し、集まったものをボランティア団体などに寄付しています。

また、群馬製作所総務部が中心となり飲料缶のプルタブを集めて車椅子と交換する活動も進めています。このたび2007年12月にはプルタブの回収量800kgを達成し、車椅子1台と交換することができました。今後、車椅子を必要としている施設に寄贈される予定です。

今後も2台目、3台目の車椅子獲得を目指し、活動を推進していきます。



プルタブと交換した車椅子と群馬製作所の従業員



## 交通安全普及のために

### 交通安全普及の活動

#### 社会実験プロジェクトに継続して参画

当社は、クルマが万一衝突した際に運転者や搭乗者、歩行者などの被害を低減する安全技術の開発はもちろんのこと、交通事故を未然に防ぐ新しい予防安全技術の開発についても注力しており、センサーとしてのステレオカメラ技術や車両制御技術の研究、商品化を進めています。▶ P27 TOPICS参照

こうした考え方に基づき、寒冷地域の冬季の交通事故予防、事故被害の低減を目指す社会実験に積極的に協力しており、秋

田、札幌でのプロジェクトに2006年度、2007年度と参画しています。<sup>※1</sup>

また、当社各カンパニーおよび関係会社においては、自動車をはじめとした輸送機器およびその部品を開発・製造する会社の社員であることの自覚を促し、交通安全を啓発する勉強会・運転教室などを毎年開催しています。



開催状況などにつきましては本誌34ページや2008社会・環境報告書Webデータ編に掲載しています

## 地域貢献活動

当社では地域社会との共生を目指して、地域行事に積極的に参加するとともに、催しものを継続的に開催して、地域の皆さまとの交流を図っています。

### 群馬製作所スバルビジターセンター

#### 見学会をととしてのコミュニケーション

スバルビジターセンターは、群馬製作所矢島工場内に2003年7月15日にオープンし、工場見学などで来訪されるお客さまにスバルの歴代のクルマや世界記録を樹立したクルマ、スバルの個性的な技術や環境への取り組みなどを展示し、紹介している施設です。2007年度には、地域の小学生を中心に103,260人もの皆さまに見学いただきました。



見学無料、詳細は当社ホームページをご覧ください。  
<http://www.subaru.jp/about/showroom/vc/index.html>



ビジターセンター外観



センター内スバル車展示場

### 宇都宮製作所

#### 旧引込み線を遊歩道として地域の皆さまに開放

地域貢献のひとつとして、本工場北側の旧引込み線跡地に、宇都宮市の協力を得て、市民に利用していただける遊歩道「歩行者・自転車専用道路」を開設しました。2008年4月4日には、宇都宮市長、南警察署長、近隣の11自治会長他、地域の方々に参加いただき開通式を行い、地区自治会長から感謝状と「スバルロード」と命名された看板を設置していただきました。



「スバルロード」看板



開通式

### 桐生工業

#### 関係会社における活動

関係会社各社におきましても、地域での貢献活動・清掃活動を積極的に実施しております。

桐生工業では、工場外周の学童通学路・線路脇の清掃活動を行っています。



桐生工業:2007年6月の環境月間に行った清掃活動



※1 社会実験の詳細につきましては、つるナビ専用ホームページよりご覧ください。  
あきたつるる路面ナビゲーター ホームページアドレス:<http://tsurunavi.ce.akita-U.AC.jp/>

# 社会とのかかわり

## ■ 2007年度 主な地域貢献イベント・清掃活動の紹介

2007年度、スバルでは次のような地域貢献イベント・清掃活動を行いました。  
今後も積極的に地域とのコミュニケーションを図ってまいります。

	事務所	地域貢献イベントなど	地域清掃活動など
富士重工業	群馬製作所	<ul style="list-style-type: none"> <li>矢島工場 スバル大感謝祭(来場者約35,000名) [10/1]</li> <li>大泉工場 ふれあい感謝祭(来場者約2,000名) [5/20]</li> <li>工場見学受け入れ(小学生88,069、一般15,191、計103,260名)</li> <li>夏休み乗り物教室(小学生とその保護者 約400名) [8/2,8,9]</li> <li>環境出前授業(スバル環境交流会)*2(地域の小学校30校 計2,676名対象)</li> <li>太田市、伊勢崎市、大泉町、邑楽町の各夏まつりへの参加(約1,500名参加)</li> <li>スバルカップ争奪太田市学童軟式野球大会(参加者約500名) [7~8月]</li> <li>スバル旗争奪群馬県学童軟式野球大会(参加者約400名) [9~10月]</li> <li>上州太田スバルマラソン主催 [10/27]</li> <li>中学生職場体験学習受け入れ(計8名) [7~11月]</li> <li>少年、高校生野球教室等開催(参加者合計約1,600名)</li> <li>スバル地域交流会主催ふれあいコンサート(年4回計2,200名参加)</li> </ul>	スバル地域交流会※1活動として ・金山清掃(400名参加) [5/26] ・環境美化活動(延べ約20万人/年参加) [2回/月] 
	埼玉製作所	<ul style="list-style-type: none"> <li>北本宵まつり参加(従業員とその家族約300名)</li> <li>れんげそうまつりに協賛</li> </ul>	「環境月間」に合わせた清掃活動(103名参加) [6/20] びかびか北本おまかせプログラム(延べ819名参加) 製作所周辺クリーンキャンペーン(368名参加) [6/16]
	宇都宮製作所	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあい祭り(来場者約8,000名) [10/28]</li> <li>環境出前授業*2(地域の小学校20校、1,519名対象)</li> <li>「緑の募金活動」374,133円(8回目 累計2,715,622円)</li> <li>近隣自治会役員交流会(22名参加で埼玉製作所見学) [12/5]</li> <li>製作所北側壁面を「ふれあいアトリエ」として一般市民に開放 [7~8月]</li> <li>納涼祭開催(約7,000名参加) [8/4]</li> <li>「みゆきっ子環境フェスタ」(御幸小600名+保護者等200名) [2/6]</li> <li>旧鉄道引込み線を遊歩道として開放 [08年4/4~]</li> </ul>	製作所周辺クリーンキャンペーン(368名参加) [6/16]
	東京事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>納涼祭開催(約2,000名参加) [8/3]</li> <li>事業所内体育館の一般開放(毎週月~金、約500名/月)</li> <li>小学生事業所見学会(地域の小学校8校、740名参加)</li> </ul>	・ 独身寮周辺道路清掃活動(1回/月、延べ240名)
国内関係会社	輸送機工業	<ul style="list-style-type: none"> <li>宇都宮「緑の募金活動」協賛</li> <li>交通安全街頭指導</li> <li>中学生職場体験学習受け入れ(計2名) [8月10~13]</li> </ul>	
	富士機械	<ul style="list-style-type: none"> <li>本社 納涼祭(800名参加) [8/11]</li> </ul>	本社周辺歩道の清掃(1回/週)
	イチタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>イチタン夏祭り(近隣住民200世帯参加) [7/28]</li> <li>スポーツブラザ貸し出し(近隣学校、地域ママさんクラブなど)</li> </ul>	・ 利根川清掃(25名参加)
	桐生工業		<ul style="list-style-type: none"> <li>工場外周の学童通学路清掃および線路脇除草 [6/1]</li> <li>工場外周道路の清掃活動 [1回/月、延べ48名]</li> <li>会社外周清掃活動 [毎週月曜日昼休み]</li> </ul>
	スバルロジスティクス	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通遺児助け合いカンパ476,258円 [12/17スバル輸送協力会]</li> </ul>	
海外関係会社	SIA(アメリカ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>募金活動:SIA基金より6月12月の計2回 \$82,543</li> <li>SIA創立20周年を記念し、ラファイエット市とティピカヌー郡にレガシイを寄付</li> </ul>	
	SOA(アメリカ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>NJ アカデミー・フォア・アクアティック・サイエンスにスバル車を提供</li> <li>環境教育や野生生物のリハビリに取り組む学生にインターンプログラムを提供</li> <li>ホームレスの人々向け施設を従業員と家族がボランティアで清掃、改装</li> </ul>	・ オレゴン州の海岸の清掃活動 [9/15] 
	SCI(カナダ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>アースデイ2007イベントで事業所周辺の清掃活動</li> </ul> 	 ・ ミシサーガ市ボランティア清掃プログラムに協力し、地域2.5kmの道路清掃を約束

※1 スバル地域交流会：当社とお取引先さま54社からなる組織で、太田市と周辺地域住民との相互交流、ならびに地域発展を図り「住みよい街づくり」に貢献することを目的とした組織です。  
イチタン、桐生工業、スバルロジスティクスの3社はこの活動にも参加しています。  
※2 環境出前授業：当社社員が地域の小学校を訪問して環境教育を行う取り組み。

これらの取り組みはスバル地域交流会ホームページにも掲載しております。  
<http://www.chiiki-kouryuukai.com/>



## 従業員一人ひとりが働きやすい、より良い環境に

2007  
POINT

- ① 技能の向上と伝承への取り組みとしてスバル技能向上プログラムを導入し、取り組んでおります。
- ② 次世代法による第二次行動計画を策定し、ワークライフバランスの取り組みを推進しています。
- ③ 障がい者雇用率が法定の1.8%を超え、2.0%を達成。今後も促進していきます。

## 人材育成・福利厚生・雇用・人権

### ■ 技能の向上と伝承への取り組み

#### スバル技能向上プログラム

2006年度より、専門性向上施策のひとつとして「スバル技能向上プログラム」を導入し、技能向上に取り組んでおります。この「スバル技能向上プログラム」は、「全体の底上げ」と「技能伝承」を2本柱としております。

#### ■ 全体の底上げ

仕事をするために必要な知識・技能を職種・階層別に定義した「技能資格基準書」をベースとし、技能道場である「スバルテクニカルスクール(STS)」で、基本や原理原則を重視した知識教育・技能訓練を積む内容となっております。

また、技能の向上を技能評価で力量確認することで、技能レベルの向上を実感できる仕組みとしております。

#### ■ 技能の伝承

高度熟練技能者が有する卓越技能やカンやコツを含む特殊技能を伝承していくための仕組みで、「特殊技能伝承コース」「ノウハウ伝承コース」の2コースを設けています。

### ■ 公的資格取得への支援

#### 自己啓発支援を強化

2007年度から当社では、会社が指定する公的資格の取得を目的とした受験費用やセミナー受講費等が、カフェテリアプラン型福利厚生制度「マイビジョン」による会社補助の対象に加わりました。今後も従業員のニーズに応じた、発展性のある福利厚生制度を通じて一人ひとりの夢の実現に向けて支援していきます。

#### ◆カフェテリアプラン型福利厚生制度「マイビジョン」一覧

カテゴリー	会社補助内容
自己啓発	選択型社内集合研修や社内通信教育、当社指定公的資格の講習・取得、各種スクールなど
生活支援	介護(介護施設)や育児(保育所やベビーシッター)に関する利用、子どもの教育など
人生設計	人生設計関連のセミナーや相談
リフレッシュ	スポーツクラブや宿泊施設、パルク旅行、文化鑑賞、スポーツ観戦、レジャー施設などの利用
自社製品	社内製品(クルマを除く)の購入や系列販社の車検・修理など

### ■ ワークライフバランスへの取り組み

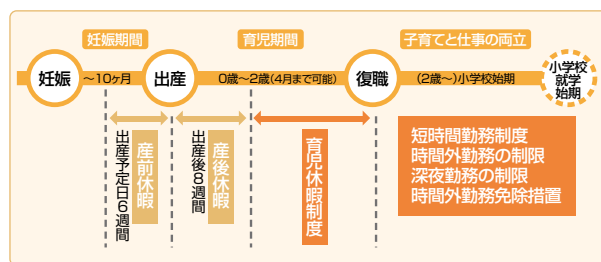
#### 仕事と家庭との両立を支援

従業員が個々の能力を存分に発揮していくためには、仕事と家庭との両立を支援し、働きやすい環境を整備することが重要と考えています。具体的には、子どもが3歳の誕生日を迎えるまで延長ができる育児休業制度や、子どもが小学校に入学するまでの間は短時間勤務ができる制度を導入し、子どもを養育している従業員が働きやすい環境の整備を進めてまいりました。その結果、2007年に次世代育成支援対策推進法(次世代法)による基準適合一般事業主として、東京労働局長の認定を受けております。

現在は、次世代法による自主的取り組みとしての第二次行動計画(2007~2009年度)を策定し、就業規則への母性保護の規定化や、育児短時間勤務の対象者の見直しなど、色々な制度を従業員がより使いやすくなるための取り組みを進めております。

仕事と育児や家族介護などとのバランスを図りやすい、より良い職場環境づくりに向け、ワークライフバランスの取り組みを推進してまいります。

#### ◆仕事と育児の両立支援の流れ



次世代育成  
支援対策  
推進法認定  
マーク



全従業員に配布した「ワークライフバランス」パンフレット

# 従業員とともに

## ■ 60歳定年後の再雇用の促進 シニアパートナー制度

スバルでは60歳定年後の就労問題および人材の活用を図るため、2003年に定年後再雇用制度である「シニアパートナー制度」を導入いたしました。その後「改正高齢者雇用安定法」によって義務化された、「定年後65歳までの雇用継続」へ対応するため、当制度の一部見直しを行い、定年後の再雇用を進めてまいりました。また、2006年度には、定年後再雇用による人材活用をさらに積極的に行うため、当制度の見直しを再度実施しました。今後も「シニアパートナー制度」を通じて、定年を迎える従業員が持つ経験や能力を、後進の指導育成や技能の伝承に活かし、60歳定年後の再雇用の促進に取り組んでいきます。

## ■ 障がい者雇用の促進 法定雇用率1.8%を達成し雇用促進を継続

障がい者雇用率は2008年3月時点で法定の1.8%を超えて2.0%となっています。当社ではだれもが輝ける豊かな社会の実現を目指し、障がいをお持ちの方の採用を積極的に進めています。現在156名の方が活躍されており、今後も継続的な採用活動に取り組み、障がい者雇用を促進していきます。

## Voice



人事部採用担当  
前田 利治

### 多様な人材採用

当社では、特定の大学・学部・学科にとらわれず、多様な人材を採用しています。当社が求める人材は、「自立型人材」であり、それは「自分で問題を発見し、解決策を見つけ、求める結果を出すことに優れる人材」です。この能力を持つ、もしくは素地を備えた人材を求めています。新卒採用に加え、さまざまなキャリアを持つ人材も随時、中途採用しています。

## ■ 人権の尊重 よりよいパートナーシップを目指して セクハラ防止

当社の企業行動規範には、「私たちは、一人ひとりの人権と個性を尊重します。」と宣言し、人権の尊重をうたっています。また、就業規則には「セクシャルハラスメントを行い職場環境を乱してはならない」と明記されています。

セクハラ行為は、この企業行動規範に反する人権侵害行為そのものであり、当社は決してこれを許しません。

改正男女雇用機会均等法が2007年4月1日から施行となり、男性に対するセクシャルハラスメントも対象となりました。

当社では、労働協約書、従業員就業規則に明記し、「セクハラ防止ガイドライン」を全従業員に配布するとともに、各事業所にセクハラ相談窓口を設けて対応しています。



全従業員に配布した「セクハラ防止ガイドライン」

## 安全衛生・健康づくり

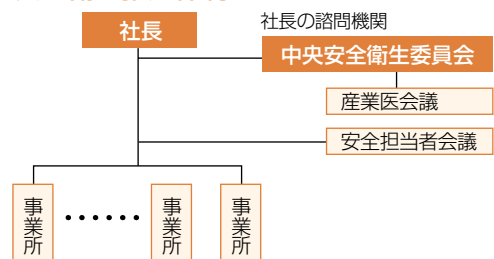
### 安全衛生 基本理念

「安全衛生はすべての業務に優先する」

### 安全衛生 基本方針

労働災害、交通事故、疾病、火災等災害のゼロを目指し、全員が安全衛生の重要性を認識し合い、設備・環境・作業方法の改善と管理・意識の向上を図り、安全快適な職場づくりを進める

### 安全衛生推進体制



## ■ 労働安全

### 一人ひとりの安全意識・管理の向上へ向けて

当社は、一人ひとりの安全意識・職場管理の向上と危険を排除する活動に取り組んでいます。意識面ではKYT\*1、ヒヤリ・ハット\*2活動の実施、管理面では1992年からTSZ\*3という各職場の自主管理活動を早期に導入しました。2000年からは、当社独自の小グループリスクアセスメントを導入し、一人ひとりの安全資質の向上とリスクの排除を行っています。また、労働安全衛生マネジメントシステム\*4を導入している群馬製作所では、新リスクアセスメントを導入し、内部監査を通じてマネジメントシステムの継続的改善に取り組



み、さらなる安全衛生水準の向上および労働災害防止に努めています。

製造部長（総括安全衛生管理者）を中心に各課のリスクアセスメント活動状況の確認と指導を行うことで、活動のレベルアップを図っています。

#### ◆ 労働災害発生状況推移

年度	2003	2004	2005	2006	2007
労働災害発生件数(件)	48	45	34	37	34
度数率(製造業平均)	0.98%	0.99%	1.01%	1.02%	1.09%
度数率(当社自動車部門)	0.59%	0.37%	0.55%	0.32%	0.51%

## ■ 快適職場形成

### 働きやすい職場を作るため改善活動を実施

国の示す快適職場指針の実現に向け、作業環境・作業方法・環境設備などの各項目について、組織的・計画的に改善活動をしています。また、より働きやすい職場をつくるため、休憩所・トイレ・喫煙所・食堂などについての改善、施設のユニバーサル化も進めています。

## ■ 健康づくり

### 法定健診項目に必要な項目を追加

いつも体と心が健康な状態で、能力・技術を十分に発揮できることは、事業活動の活性化からも重要なことです。当社では、疾病休業日数を減らす取り組みを行うにあたり、法定健康診断項目に、健康維持に必要な健診項目を加え、疾病の早期発見・早期治療に取り組んでいます。また、メンタルヘルス対策として国の示す4つのケアに則り施策を実施していますが、例えば、臨床心理士による「こころの健康相談窓口」を全事業所に設置しています。

## ■ 交通安全

### 交通事故防止への教育訓練

当社は、従業員の業務、通勤、私用すべての交通事故を防止するため、さまざまな取り組みを行っています。群馬製作所、東京事業所では67人の従業員が警察白バイ隊の指導のもと所内で二輪車安全運転教室を開催し、安全運転基本講習と実技指導を行いました。また、安全運転ドライビングシュミレーターを使用して、運転者のドライビング状況の把握を行い、より安全運転をするための教育訓練を実施しています。

群馬製作所では、職場の自主的な交通安全活動の一環として安全運転体験教育を実施しています。運転者だけの訓練でなく、歩行者等から見た運転者の危険行動や正しいタイミングでの右折の仕方等、違った視点での教育訓練を実施しています。



二輪車安全運転教室の様相



ドライビングシュミレーター

TOPICS

#### 講演会

### 「メンタル不調者等に対する管理監督者としての対応」

第32回全社安全衛生大会では、当社の健康面の重要課題であるメンタル不調者等に対する管理監督者としての対応について、講演および各専門家を交えてパネルディスカッションを開催し、「普段からの部下とのコミュニケーション等」が不調者対応や予防に繋がることを学び、参加者全員で、予防を目指すことを誓い合う大会となりました。



\*1 KYT：危険予知訓練のこと。K=危険、Y=予知、T=トレーニング

\*2 ヒヤリ・ハット：もう少しで災害となるニアミス事例を収集する活動

\*3 TSZ：Total Section Zero（関連する部署が一体となって災害をゼロにする当社の安全活動）

\*4 労働安全衛生マネジメントシステム：組織的・安定的な安全衛生管理を推進するため「計画・実施・評価・改善」という一連のプロセスを明確にした連続的・継続的に災害ゼロから危険ゼロの職場を目指すための仕組み。